



水稲営農だより

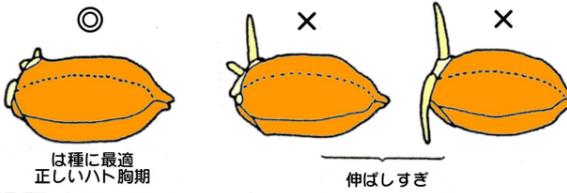


第1号 [令和5年3月6日 発行]

JAつがる弘前

東地区営農係

～基本技術の徹底で、健苗育成に努めましょう！～

月 日	作業名	作業内容														
3月25日頃 ～	塩水選	<p>1年の始まりの作業です。病気に負けない健苗育成のために、必ず実施しましょう。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>比重</th> <th>塩の量</th> <th></th> <th>比重</th> <th>塩の量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>うるち米</td> <td>1.13</td> <td>2.1kg/水 10ℓ</td> <td>もち米</td> <td>1.08</td> <td>1.2kg/水 10ℓ</td> </tr> </tbody> </table>		比重	塩の量		比重	塩の量	うるち米	1.13	2.1kg/水 10ℓ	もち米	1.08	1.2kg/水 10ℓ		
		比重	塩の量		比重	塩の量										
うるち米	1.13	2.1kg/水 10ℓ	もち米	1.08	1.2kg/水 10ℓ											
種子消毒	<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>低濃度浸漬法</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テクリードCフロアブル</td> <td>200 倍液に 24 時間浸漬</td> <td rowspan="2">薬 100 ml・g/水 20ℓで 種籾約 10kg</td> </tr> <tr> <td>エコホープDJ (青天の霹靂) ※航空防除申込者</td> <td>200 倍液で 催芽前に 24 時間浸漬</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	低濃度浸漬法	使用量	テクリードCフロアブル	200 倍液に 24 時間浸漬	薬 100 ml・g/水 20ℓで 種籾約 10kg	エコホープDJ (青天の霹靂) ※航空防除申込者	200 倍液で 催芽前に 24 時間浸漬							
薬剤名	低濃度浸漬法	使用量														
テクリードCフロアブル	200 倍液に 24 時間浸漬	薬 100 ml・g/水 20ℓで 種籾約 10kg														
エコホープDJ (青天の霹靂) ※航空防除申込者	200 倍液で 催芽前に 24 時間浸漬															
～4月10日	種籾浸漬	<p>出芽揃いのため、浸漬は十分行いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆浸漬日数は2週間程度。(積算水温で100℃以上) ◆水温7℃で15日以上 水温10℃で10日以上 浸漬期間が短い、低温で浸漬・・・出芽不良や出芽遅れの原因となります。 ◆水の交換は、最初入水日を含め3日目に行い、2回目からは水の交換日を含め4日目に行いましょう(目安)。 ◆水の交換と同時に、上下の入れ替えも行いましょう。 <p>浸漬中も種籾は呼吸しています。水の交換やもみ袋の上下を入れ替えすることで、酸素の供給になります。浸漬と酸素供給を十分に行うことで、病気にかかりにくく、芽揃いもよくなり、生育もよくなります。</p>														
	床土づくり	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用資材</th> <th>山土及び人工培土</th> <th>人口培土 使用資材</th> <th>箱当たり 使用量</th> <th>1袋でできる 箱数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ナエファイン粉剤</td> <td>8g/箱 1kg(1袋)で約166箱分</td> <td>軽量培土 20 kg</td> <td>床土 1.0 kg 覆土 0.75 kg</td> <td rowspan="2">約 11 箱分</td> </tr> <tr> <td>ナエファインフロアブル</td> <td>2,000倍液 1ℓ /箱 100ml(1本)で200箱分</td> <td>苗の土 20 kg</td> <td>床土 2.1 kg 覆土 1.2 kg</td> <td>約 6 箱分</td> </tr> </tbody> </table>	使用資材	山土及び人工培土	人口培土 使用資材	箱当たり 使用量	1袋でできる 箱数	ナエファイン粉剤	8g/箱 1kg(1袋)で約166箱分	軽量培土 20 kg	床土 1.0 kg 覆土 0.75 kg	約 11 箱分	ナエファインフロアブル	2,000倍液 1ℓ /箱 100ml(1本)で200箱分	苗の土 20 kg	床土 2.1 kg 覆土 1.2 kg
使用資材	山土及び人工培土	人口培土 使用資材	箱当たり 使用量	1袋でできる 箱数												
ナエファイン粉剤	8g/箱 1kg(1袋)で約166箱分	軽量培土 20 kg	床土 1.0 kg 覆土 0.75 kg	約 11 箱分												
ナエファインフロアブル	2,000倍液 1ℓ /箱 100ml(1本)で200箱分	苗の土 20 kg	床土 2.1 kg 覆土 1.2 kg		約 6 箱分											
4月13日頃	催芽	<ul style="list-style-type: none"> ◆ハト胸程度とし、芽や根を伸ばし過ぎないようにしましょう。 芽や根の伸ばしすぎは、播種作業時に折れ、生育の遅れの原因となります。 ◆催芽温度…約30～32℃(40℃以上にしない)で 16～20 時間程度 														
4月15日頃	播種	<ul style="list-style-type: none"> ◆播種量は、育苗箱1箱当り催芽籾で120g程度にしましょう。 ◆初期生育確保のため、厚播きにしないで健苗育成に努めましょう。 厚播き ⇒ 徒長軟弱苗 ⇒ 育苗中:ムレ苗や立ち枯れ病にかかりやすくなる 田植後:代枯れしやすい・初期生育が悪い <p>適正な播種量にすることにより、苗同士の間隔が広くなり、下葉まで光が届くことで茎が太く、葉色も濃い緑色の丈夫な健苗になり、病気にかかりにくく、活着が早く分けつも早く発生します。</p>														
4月16日～	育苗期間	<ul style="list-style-type: none"> ◆出芽揃いまで水分保持と保温のため、シルバーポルトウなどで平張り被覆し、出芽揃い後(5mm位)被覆資材を取り除いて日光に当てましょう。(被覆期間は平年で5～6日間程度) ◆シルバーポルトウを長くかけすぎていると、クモノスカビ病が出やすくなるので、出芽揃いになったらすぐに取り除きましょう。 箱土が乾燥すると出芽が揃いなくなり、過湿だとクモノスカビ病が出やすくなるので、初期の水管理には十分注意しましょう。 														

※月日は5月20日に田植え予定の目安となっております。

気象庁の1ヶ月予報では、今後かなり気温が高めに推移する予想です。

農作物の準備作業が早まると思いますので、浸漬中の発芽に気を付けるとともに、計画的に作業を進めましょう。